

部分床義歯補綴学

責任者・コーディネーター	歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野） 小林 琢也 教授		
担当講座（分野）	歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野）		
対象学年	4	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習 実習
期間	前期		前期 32.0時間 52.0時間 後期 — —

学修方針（講義概要等）

歯科補綴学とは、歯・口腔・顎・その関連組織の先天性欠如、後天的欠損、喪失や異常を人工装置を用いて修復し、喪失した形態または障害された機能を回復するとともに、継発疾病の予防を図るために必要な理論と技術を考究する学問である。

部分床義歯補綴学では、歯列内の部分的な歯の喪失、関連組織の実質欠損、また、それらによる異常を部分床義歯によって修復・整形し、損なわれた機能と外観を回復させるとともに、患者の健康の維持・増進を図るために必要な方法に関して、理論と技術を修得することを目的に学修する。

教育成果（アウトカム）

部分床義歯補綴学の講義及び実習では、部分床義歯の基本構造や支持・把持・維持の原則を理解し、診察、診断、適切な治療計画の立案、義歯の設計理論と製作工程、装着後の調整に至るまでの知識と技術を修得する。

（関連するディプロマポリシー：1, 4, 6）

到達目標（SBOs）

1. 歯列欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。D-5-3-2-1
2. 部分床義歯の種類、目的、意義及び適応症を説明できる。D-5-3-2-2
3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。D-5-3-2-3
4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。D-5-3-2-4
5. 部分床義歯製作のための咬合採得を説明できる。D-5-3-2-5
6. 部分床義歯製作における人工歯選択を説明できる。D-5-3-2-7
7. 部分床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を説明できる。D-5-3-2-8
8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。D-5-3-2-9
9. ろう義歯試適、装着及び調整を説明できる。D-5-3-2-10
10. 部分床義歯装着後のメンテナンスの意義と方法、調整を説明できる。D-5-3-2-11
11. 部分床義歯のリラインと修理を説明できる。D-5-3-2-12

事前事後学修の具体的内容及び時間

【事前学修】

シラバスに記載されている次回の講義と実習内容を確認し、教科書と実習書を用いて調べ、事前学修として疑問点を整理しておくこと。各講義に対する事前学修の時間は平均30分を要する。

【事後学修】

講義後にポストテストを実施する。ポストテストで理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて事後学修を行うこと。各講義に対する事後学修の時間は平均45分を要する。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/23 (木)	4	小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学① (欠損様式と診察・検査・診断) 欠損歯列の様々な分類法と臨床的意義、部分床義歯製作時の診察法を理解する。 講義・ディスカッション	1. 歯列欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 2. 部分床義歯の種類、目的、意義及び適応症を説明できる。 a) 分類の必要性と臨床的意義を説明できる。 b) 部分床義歯製作時の診察項目を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-1, 2] 事前学修：歯の欠損による顎口腔系の変化と欠損様式について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	4/30 (木)	4	小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学② (構成要素) 義歯の構成要素の種類とその作用について理解する。 講義・ディスカッション	3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。 a) 部分床義歯の構成要素を列挙し、説明できる。 b) 義歯の構成要素が持つ作用を説明できる。 c) レストの作用を説明できる。 d) 義歯床、大連結子による作用を説明できる。 e) 誘導面と隣接面板を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-3] 事前学修：部分床義歯の構成要素の役割について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	5/13 (水)	1	小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学③ (支台装置) 部分床義歯の維持の考え方を理解し、支台装置の種類、構造、機能などを修得する。 講義・ディスカッション	3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。 a) 部分床義歯の支持・把持・維持について説明できる。 b) 支台装置の一般的所要条件を説明できる。 c) 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-3] 事前学修：支台装置の目的と機能について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	5/14 (木)	4	小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学④ (設計) 部分床義歯の基本的な設計原則について理解する。 講義・ディスカッション	3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。 a) 義歯の基本的な設計原則を説明できる。 b) 義歯の構成要素と設定位置・順序を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-3] 事前学修：部分床義歯の設計原則と手順について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	5/20 (水)	1	米澤悠助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学⑤ (サベイング) サベイングの目的と意義について理解する。 講義・ディスカッション	3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。 a) サベイングの目的を説明できる。 b) サベイングの手順と意味を説明できる。 c) サベイングと義歯の設計の関係を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-3] 事前学修：サベイングの目的と手順及び使用器具について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	5/27 (水)	1	原総一郎助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学⑥ (前処置) 前処置の目的と意義について理解する。 講義・ディスカッション	3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。 a) 前処置の種類を列挙し、その意義、目的を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-3] 事前学修：広義の前処置と補綴前処置の目的について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	6/3 (水)	1	原総一郎助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学⑦ (印象採得) 歯と粘膜により支持される部分床義歯の印象採得を理解する。 講義・ディスカッション	4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。 a) 印象法の種類と特徴を説明できる。 b) 印象用材料について説明できる。 c) 印象用トレーについて説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-4] 事前学修：部分床義歯の印象採得の手法と手技及びオルタードキャスト法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	6/10 (水)	1	小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学⑧ (顎間関係の記録と咬合) 部分床義歯の顎間関係の記録の特徴を知り、術式を理解する。 講義・ディスカッション	5. 部分床義歯製作のための咬合採得を説明できる。 a) 顎間関係の記録の術式、材料を歯列対向関係の違いに分けて説明できる。 b) 部分床義歯に付与する咬合様式について説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-5] 事前学修：部分床義歯の顎間関係の記録(咬合採得)の特徴と手法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	6/17 (水)	1	<p>小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学⑨ (フレームワーク)</p> <p>フレームワークの特徴と製作方法を理解する。 講義・ディスカッション</p>	<p>3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。</p> <p>8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> <p>a) フレームワークの製作方法を説明できる。</p> <p>b) フレームワークの試適方法を説明できる。</p> <p>[D-5-3-2、D-5-3-2-3, 9]</p> <p>事前学修：フレームワークの製作手順について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
講義	6/24 (水)	1	<p>原総一朗助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学⑩ (人工歯の排列とろう義歯試適)</p> <p>人工歯の排列の基本原則とろう義歯試適時の検査項目を理解する。 講義・ディスカッション</p>	<p>6. 部分床義歯製作における人工歯選択を説明できる。</p> <p>7. 部分床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を説明できる。</p> <p>8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> <p>9. ろう義歯試適、装着及び調整を説明できる。</p> <p>a) 人工歯の選択と排列について説明できる。</p> <p>b) 部分床義歯に付与する咬合様式を説明できる。</p> <p>c) 歯肉形成について説明できる。</p> <p>d) ろう義歯試適時の検査項目を列挙できる。</p> <p>[D-5-3-2、D-5-3-2-7, 8, 9, 10]</p> <p>事前学修：部分床義歯と全部床義歯の人工歯排列の違いについて教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

講義	7/2 (木)	4	<p>原総一郎助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学⑪ (義歯装着と調整)</p> <p>部分床義歯の装着と術後管理、患者指導について理解する。 講義・ディスカッション</p>	<p>9. ろう義歯試適、装着及び調整を説明できる。 10. 部分床義歯装着後のメンテナンスの意義と方法、調整を説明できる。 a) 義歯装着の手技について説明できる。 b) 咬合調整について説明できる。 c) 義歯装着時の患者指導を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-10, 11] 事前学修：部分床義歯の装着手法と手技について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
講義	7/8 (水)	1	<p>小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学⑫ (義歯装着後の変化と対応、義歯修理)</p> <p>床義歯の装着後に生じる残存諸組織と咬合の変化とその対応を理解する。 義歯破損の原因とその対応法について理解する。 講義・ディスカッション</p>	<p>10. 部分床義歯装着後のメンテナンスの意義と方法、調整を説明できる。 11. 部分床義歯のリラインと修理を説明できる。 a) 義歯装着後の口腔内の変化について列挙し、説明できる。 b) 義歯装着後の顎堤粘膜、歯槽骨、顎間関係、咬合の変化とその対応を説明できる。 c) リベースとリラインの違いを説明できる。 d) 義歯の破損の原因について説明できる。 e) 義歯修理の直接法について説明できる。 f) 義歯修理の間接法について説明できる。 g) 咬合面再形成について説明できる。 h) 粘膜調整について説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-11, 12] 事前学修：義歯装着後の変化とその対応方法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

講義	7/8 (水)	2	原総一郎助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学⑬ (様々な義歯) オーバーデンチャーについて理解する。 講義・ディスカッション	2. 部分床義歯の種類、目的、意義及び適応症を説明できる。 a) オーバーデンチャーについて説明できる。 b) アタッチメントについて説明できる。 c) インプラントを応用したオーバーデンチャーについて説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-2] 事前学修：オーバーデンチャーにおけるアタッチメントの特徴と選択について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
講義	7/8 (水)	3	鈴木哲也非常勤講師	部分床義歯補綴学⑭ 補綴治療の難症例への対応 超高齢者の欠損補綴治療の難度を理解する。	2. 部分床義歯の種類、目的、意義及び適応症を説明できる。 3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。 4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。 5. 部分床義歯製作のための咬合採得を説明できる。 6. 部分床義歯製作における人工歯選択を説明できる。 7. 部分床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を説明できる。 8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 9. ろう義歯試適、装着及び調整を説明できる。 10. 部分床義歯装着後のメンテナンスの意義と方法、調整を説明できる。 a) 欠損補綴の定義を説明できる。 b) 難症例に対する床義歯補綴の治療手順を説明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-2, 3, 4, 5, 7, 8, 9, 10, 11] 事前学修：よくわかる高齢者歯科学 P100-106を読み、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

講義	7/22 (水)	1	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学⑮ (振り返り講義)</p> <p>部分床義歯補綴学の履修内容(欠損様式と診察・検査・診断、構成要素、支台装置、設計、サベイング、前処置、印象採得、顎間関係の記録、フレームワーク、人工歯の排列とろう義歯試適、義歯装着と調整、義歯装着後の変化と対応、義歯修理、様々な義歯)を理解する。 講義・ディスカッション</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯列欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 2. 部分床義歯の種類、目的、意義及び適応症を説明できる。 3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。 4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。 5. 部分床義歯製作のための咬合採得を説明できる。 6. 部分床義歯製作における人工歯選択を説明できる。 7. 部分床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を説明できる。 8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 9. ろう義歯試適、装着及び調整を説明できる。 10. 部分床義歯装着後のメンテナンスの意義と方法、調整を説明できる。 11. 部分床義歯のリラインと修理を説明できる。 <ol style="list-style-type: none"> a) 分類の必要性和臨床的意義を説明できる。 b) 部分床義歯製作時の診察項目を説明できる。 c) 部分床義歯の構成要素を列挙し、説明できる。 d) 義歯の構成要素が持つ作用を説明できる。 e) 部分床義歯の支持・把持・維持について説明できる。 f) 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 g) 義歯の基本的な設計原則を説明できる。 h) サベイングの目的を説明できる。 i) サベイングの手順と意味を説明できる。 j) サベイングと義歯の設計の関係を説明できる。 k) 前処置の種類を列挙し、その意義、目的を説明できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 印象法の種類と特徴を説明できる。 m) 顎間関係の記録の術式、材料を歯列対向関係の違いに分けて説明できる。 n) 部分床義歯に付与する咬合様式について説明できる。 o) フレームワークの製作方法を説明できる。 p) ろう義歯試適時の検査項目を列挙できる。 q) 義歯装着の手技について説明できる。 r) 義歯装着時の患者指導を説明できる。 s) 義歯装着後の口腔内の変化について列挙し、説明できる。 t) 義歯装着後の顎堤粘膜、歯槽骨、顎間関係、咬合の変化とその対応を説明できる。 u) リベースとリラインの違いを説明できる。 v) 義歯の破損の原因について説明できる。 w) 義歯修理の直接法について説明できる。 x) 義歯修理の間接法について説明できる。 <p>事前学修：歯の部分欠損の病因と病態及び治療法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
----	-------------	---	--	---	--

講義	7/22 (水)	2	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学⑩ (振り返り講義)</p> <p>部分床義歯補綴学の履修内容(欠損様式と診察・検査・診断、構成要素、支台装置、設計、サベイング、前処置、印象採得、顎間関係の記録、フレームワーク、人工歯の排列とろう義歯試適、義歯装着と調整、義歯装着後の変化と対応、義歯修理、様々な義歯)を理解する。 講義・ディスカッション</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯列欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 2. 部分床義歯の種類、目的、意義及び適応症を説明できる。 3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。 4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。 5. 部分床義歯製作のための咬合採得を説明できる。 6. 部分床義歯製作における人工歯選択を説明できる。 7. 部分床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を説明できる。 8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 9. ろう義歯試適、装着及び調整を説明できる。 10. 部分床義歯装着後のメンテナンスの意義と方法、調整を説明できる。 11. 部分床義歯のリラインと修理を説明できる。 <ol style="list-style-type: none"> a) 分類の必要性と臨床的意義を説明できる。 b) 部分床義歯製作時の診察項目を説明できる。 c) 部分床義歯の構成要素を列挙し、説明できる。 d) 義歯の構成要素が持つ作用を説明できる。 e) 部分床義歯の支持・把持・維持について説明できる。 f) 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 g) 義歯の基本的な設計原則を説明できる。 h) サベイングの目的を説明できる。 i) サベイングの手順と意味を説明できる。 j) サベイングと義歯の設計の関係を説明できる。 k) 前処置の種類を列挙し、その意義、目的を説明できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 印象法の種類と特徴を説明できる。 m) 顎間関係の記録の術式、材料を歯列対向関係の違いに分けて説明できる。 n) 部分床義歯に付与する咬合様式について説明できる。 o) フレームワークの製作方法を説明できる。 p) ろう義歯試適時の検査項目を列挙できる。 q) 義歯装着の手技について説明できる。 r) 義歯装着時の患者指導を説明できる。 s) 義歯装着後の口腔内の変化について列挙し、説明できる。 t) 義歯装着後の顎堤粘膜、歯槽骨、顎間関係、咬合の変化とその対応を説明できる。 u) リベースとリラインの違いを説明できる。 v) 義歯の破損の原因について説明できる。 w) 義歯修理の直接法について説明できる。 x) 義歯修理の間接法について説明できる。 <p>事前学修：歯の部分欠損の病因と病態及び治療法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
----	-------------	---	--	---	---

実習日程表

実習	5/20 (水)	2	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学実習 (概形印象採得)</p> <p>概形印象採得を行うために、印象域、印象材、印象手法を理解し、その術式を習得する。</p>	<p>4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。 a) 概形印象採得について説明できる。 b) 適切な概形印象採得ができる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-3] 事前学修：部分床義歯の研究用模型を用いた診察と検査及び診断について、教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
実習	5/20 (水)	3 4	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学実習 (研究用模型の製作①②)</p> <p>研究用模型の使用目的を理解し、製作方法を習得する。</p>	<p>4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。 8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 a) 研究用模型の使用目的について説明できる。 b) 適切な研究用模型を製作することができる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-3] 事前学修：部分床義歯の研究用模型を用いた診察と検査及び診断について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

<p>実習</p>	<p>5/27 (水)</p>	<p>2</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学実習 (予備サベイングと予備設計)</p> <p>予備サベイングと予備設計の目的を理解し、習得する。</p>	<p>3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。</p> <p>a) 欠損歯列の分類法について説明できる。</p> <p>b) 適切な連結装置を選択し設計できる。</p> <p>c) 適切な支台装置を選択し設計できる。</p> <p>d) サベイングの目的と意義を説明できる。</p> <p>e) サベイヤーと付属品の名称と使用法を説明できる。</p> <p>f) 適切にサベイング操作を行うことができる。</p> <p>[E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-1]</p> <p>事前学修：予備サベイングの目的と手技及び予備設計の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
<p>実習</p>	<p>5/27 (水)</p>	<p>3 4</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学実習 (個人トレーの製作①②)</p> <p>部分床義歯製作に用いる個人トレーの製作方法を習得する。</p>	<p>4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。</p> <p>8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> <p>a) 個人トレーの使用意義を説明できる。</p> <p>b) 個人トレーの外形線を記入できる</p> <p>c) 常温重合レジンと練和し、個人トレー体部と柄の圧接ができる。</p> <p>[E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-1]</p> <p>事前学修：個人トレーの目的と製作方法について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

実習	6/3 (水)	2 3	小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学実習 (個人トレーの製作③④) 部分床義歯製作に用いる個人トレーの製作方法を習得する。	4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。 8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 a) 個人トレーの使用意義を説明できる。 b) 個人トレーの外形線を記入できる c) 常温重合レジンと練和し、個人トレー体部と柄の圧接ができる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-1] 事前学修：個人トレーの目的と製作方法について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	6/3 (水)	4	小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学実習 (前処置①) 欠損歯列の口腔内前処置を習得する。	3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。 a) 欠損歯列の前処置について説明できる。 b) 歯冠形態の修正、ガイドプレーン、レストシートの形成ができる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-2] 事前学修：補綴前処置の手法と手技について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	6/10 (水)	2	小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学実習 (前処置②) 欠損歯列の口腔内前処置を習得する。	3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。 a) 欠損歯列の前処置について説明できる。 b) 歯冠形態の修正、ガイドプレーン、レストシートの形成ができる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-2] 事前学修：補綴前処置の手法と手技について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

実習	6/10 (水)	3	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学実習 (筋圧形成)</p> <p>個人トレーを用いた筋圧形成を習得する。</p>	<p>4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。 8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 a) 個人トレーとモデリングコンパウンドを用いた筋圧形成ができる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-2] 事前学修：部分床義歯印象採得の手法について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
実習	6/10 (水)	4	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学実習 (精密印象採得)</p> <p>部分床義歯の精密印象採得方法を習得する。</p>	<p>4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。 8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 a) 精密印象採得材の種類と適応を説明できる。 b) 精密印象採得の操作方法を説明できる。 c) 精密印象採得の目的と方法を説明できる。 d) 精密印象採得を行うことができる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-4] 事前学修：部分床義歯印象採得の手法について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

実習	6/11 (木)	3 4	小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学実習 (作業用模型の製作①②) 床義歯の作業用模型の製作方法を習得する。	4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。 8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 a) ボクシングの目的を説明できる。 b) 作業用模型について説明できる。 c) 作業用模型を製作できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-4] 事前学修：ボクシングの製作手法について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	6/17 (水)	2	小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学実習 (作業用模型の製作③) 床義歯の作業用模型の製作方法を習得する。	4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。 8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 a) ボクシングの目的を説明できる。 b) 作業用模型について説明できる。 c) 作業用模型を製作できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-4] 事前学修：ボクシングの製作手法について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。
実習	6/17 (水)	3	小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	部分床義歯補綴学実習 (サベイングと設計) サベイングの方法を習得する。	3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。 a) 適切なサベイングを行える。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-1] 事前学修：サベイングと設計手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。

<p>実習</p>	<p>6/17 (水)</p>	<p>4</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学実習 (フレームワーク・作業用模型の修正①)</p> <p>支台装置と連結子の特徴と製作方法を理解する。</p>	<p>3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。</p> <p>8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> <p>a) フレームワークの製作方法を説明できる。</p> <p>b) 支台装置の製作方法を説明できる。</p> <p>c) 連結子の製作方法を説明できる。</p> <p>d) 作業用模型の修正ができる。</p> <p>[E-5-3-4、E-5-3-4-2]</p> <p>事前学修：フレームワークの製作手順と作業用模型の修正手技について調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
<p>実習</p>	<p>6/24 (水)</p>	<p>2</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学実習 (フレームワーク・作業用模型の修正②)</p> <p>支台装置と連結子の特徴と製作方法を理解する。</p>	<p>3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。</p> <p>8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> <p>a) フレームワークの製作方法を説明できる。</p> <p>b) 支台装置の製作方法を説明できる。</p> <p>c) 連結子の製作方法を説明できる。</p> <p>d) 作業用模型の修正ができる。</p> <p>[E-5-3-4、E-5-3-4-2]</p> <p>事前学修：フレームワークの製作手順と作業用模型の修正手技について調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

<p>実習</p>	<p>6/24 (水)</p>	<p>3 4</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学実習 (複印象と耐火模型の製作①②)</p> <p>支台装置と連結子の特徴と製作方法を理解する。</p>	<p>3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。</p> <p>4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。</p> <p>8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> <p>a) フレームワークの製作方法を説明できる。</p> <p>b) 支台装置の製作方法を説明できる。</p> <p>c) 連結子の製作方法を説明できる。</p> <p>d) 複印象と耐火模型の製作ができる。</p> <p>[E-5-3-4、E-5-3-4-2]</p> <p>事前学修：フレームワークの製作手順と複印象と耐火模型の製作手技について調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
<p>実習</p>	<p>7/1 (水)</p>	<p>2</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学実習 (複印象と耐火模型の製作③)</p> <p>支台装置と連結子の特徴と製作方法を理解する。</p>	<p>3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。</p> <p>4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。</p> <p>8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> <p>a) フレームワークの製作方法を説明できる。</p> <p>b) 支台装置の製作方法を説明できる。</p> <p>c) 連結子の製作方法を説明できる。</p> <p>d) 複印象と耐火模型の製作ができる。</p> <p>[E-5-3-4、E-5-3-4-2]</p> <p>事前学修：フレームワークの製作手順と複印象と耐火模型の製作手技について調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

<p>実習</p>	<p>7/1 (水)</p>	<p>3 4 5</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学実習 (フレームワークのワックスアップ①②③)</p> <p>支台装置と連結子の特徴と製作方法を理解する。</p>	<p>3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。</p> <p>8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> <p>a) フレームワークの製作方法を説明できる。</p> <p>b) 支台装置の製作方法を説明できる。</p> <p>c) 連結子の製作方法を説明できる。</p> <p>d) フレームワークのワックスアップができる。</p> <p>[E-5-3-4、E-5-3-4-2]</p> <p>事前学修：フレームワークの製作手順とワックスアップの手技について調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
<p>実習</p>	<p>7/15 (水)</p>	<p>3 4</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>部分床義歯補綴学実習 (実習試験)</p> <p>部分床義歯を製作するうえで必要な基本的手技についての理解を問う。</p>	<p>1. 歯列欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。</p> <p>2. 部分床義歯の種類、目的、意義及び適応症を説明できる。</p> <p>3. 部分床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持)を説明できる。</p> <p>4. 部分床義歯製作のための印象採得を説明できる。</p> <p>5. 部分床義歯製作のための咬合採得を説明できる。</p> <p>6. 部分床義歯製作における人工歯選択を説明できる。</p> <p>7. 部分床義歯の人工歯排列(咬合様式を含む)を説明できる。</p> <p>8. 部分床義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> <p>9. ろう義歯試適、装着及び調整を説明できる。</p> <p>a) 部分床義歯を製作するうえで必要な基本的手技を説明できる。</p> <p>b) 部分床義歯を製作するうえで必要な基本的手技を実施できる。</p> <p>[E-5-3-4、E-5-3-4-2]</p> <p>事前学修：部分床義歯を製作するうえで必要な基本的手技について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	スタンダードパーシャルデンチャー補綴学 第4版	藍稔ほか編	学建書院	2024年
教	パーシャルデンチャーテクニック 第6版	大久保力廣ほか編	医歯薬出版	2021年
参	歯学生のパーシャルデンチャー 第6版	三谷春保ほか編	医歯薬出版	2018年

成績評価方法・基準・配点割合等

講義・実習の評価方法は、以下の評価方法と割合で行う。

- ・定期試験 70%
- ・平常点（ポストテスト）10%
- ・実習点（試験、技能・態度）20%

合格は65点以上とする。

実習評価において、全ての実習内容を履修し、ライターの確認、検印を受けることで、実習試験の受験資格を得ることができる。

到達目標	DP	実習試験	小テスト	定期試験	合計
1、2	4	5	2	14	21
3	4	5	2	14	21
4、5	1、4	5	2	14	21
6	4	5	2	14	21
7, 8, 9, 10,11	4	0	2	14	16
合計		20	10	70	100

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等）

【フィードバック】

- ・非常勤講師担当以外の講義では講義後に試験（ポストテスト）を行い、試験に関する解説は、次の講義時にフィードバックする。
- ・提出されたレポートは、採点后、コメントをつけて返却する。

【アクティブラーニング】

講義/演習日程表の「ユニット名 内容」の欄に別途記載済み。

【ICT】

講義前にWebClassに資料を提示するので事前学習に利用すること。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
デスクトップコンピュータ	MDV-AGG9210X	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
デスクトップパソコン	Inspiron580S	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
ノートパソコン	MC516J/A Education	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
一眼レフカメラ・EOS	KISSX5 LKIT	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
ノートパソコン・VAIO 一式	VPCZ21AJ	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
内視鏡用ビデオシステム	PSV-4000	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
バイトアイ 咬合接触面測定器	BE- I	1	臨床実習用機器	咬合接触状態の可視化および観察、分析のため
ノートパソコン一式	PCLZ750TSB(SSS)	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
ジルコニア焼結用ファーネス一式 (KavoEverestTherm)	4180	1	基礎実習・臨床実習用機器	ジルコニアフレーム（実習用）製作用
標準カラーカメラユニット・一式	VW-300C	1	基礎実習・臨床実習用機器	相互実習時の口腔内写真撮影用
歯科用拡大鏡・サージテルルーペ・オークリレーター	EVK450	1	基礎実習・臨床実習用機器	拡大視野下での形成、技工のため
コピー機・ミニコピア	DPC995	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
10.2インチiPad Wi-Fiモデル	MK2P3J/A	1	視聴覚用機器	学生講義、研究用